

R3 年度地域課題への取組 報告書

提出日 令和 7 年 3 月 1 日 部会名 かつどう部会

取組んだ課題 地活のあり方検討（想定する対象者、高齢化問題、スタッフ体制の問題等）

取組んだ内容・得られた結果	今後の方向性	方向性を出した理由
・これまで数年に渡り継続して地活連絡会において、地活のあり方をテーマとして活動してきた。そのなかでは、長野市担当者による説明会の開催、部会参加者への地活についての状況報告、情報提供など数年に渡り継続して行ってきた経過がある。そのなかで、地活に関わるスタッフさんへ向けて、地活のあり方について検討しようということを主とした活動も行い、地活の皆さんと統一した認識を共有し、課題検討をすることができてきた。 ・課題として、社会情勢が変化し続け、物価上昇のなか運営費、補助金については10年前から変わっていないという状況がある。これについては、部会や事業所単独での解決は困難である。	☐ 施策化 ☐ WG化 ■終結	・皆さんと共有し検討することができたこともあり、一定の成果を得られたことを考慮し、終結とする。 ただ、課題については引き続き検討事項はあるが、部会や事業所単独では解決できない事項については、長野市としての課題解決への取組みに期待する。

※提出先: 長野市障害ふくしネット(協議会)事務局 長野市南部障害者相談支援センター メール: fnnet@hynet.sakura.ne.jp

R3 年度地域課題への取組 報告書

提出日 令和 7 年 3 月 1 日 部会名 しごと部会、かつどう部会

取組んだ課題 通所施設（生活介護・就労 B）のあり方（居場所として望む利用者もいる）

取り組んだ内容・得られた結果	今後の方向性	方向性を出した理由
・これまでかつどう部会の生活介護事業所連絡会のなかで、通所施設のあり方等についてグループワークを行った経過がある。 また、しごと部会においても「地域で求められること」として、B 型事業所の在り方について話し合いを行い、「できる人ではなく、色々な方を受け入れ、育ててほしい」「意欲のある方は B 型からも就職したい」という意見を元に GW を行った。それにより各事業所に特色があり、仕事という視点ではなく、一人一人の成長を見守り、安心して居られる場所として支援にしているところ、働くモチベーションアップや就職活動に力を入れていいるところなど、幅広いニーズのある中で、ご本人の希望に寄り添いながら支援しているということを共有することができた。 これにより、どちらの視点も大切ということであり、就労選択支援も始まることから、定期的なアセスメントやご本人の希望を確認していくことが大切との認識を共有した。	☐ 施策化 ☐ WG化 ■終結	・かつどう部会、しごと部会とそれぞれの部会において課題検討を行うことができた。課題については、今後も検討の必要なことはあるが、終結という方向性を出し、あらためてテーマを絞った課題の抽出を図る必要はある。

※提出先:長野市障害ふくくしネット(協議会)事務局 長野市南部障害者相談支援センター メール:fnnet@hynet.sakura.ne.jp

R3 年度地域課題への取組 報告書

提出日 令和 7年 3月 1日 部会名 かつどう部会

取組んだ課題 行動障害を受け入れる事業所が少ない

取り組んだ内容・得られた結果	今後の方向性	方向性を出した理由
・これまで行動障害に対する理解を深めるための研修を開催するなどしてきたが、部会としての役割については限定的である。	☐ 施策化 ☐ WG化 ■ 終結	・行動障害について部会で研修や情報提供等を行うことは引き続き行っていくが、事業所数について部会でできることが限定的であり、部会だけで取り組む課題とするには困難であることを考慮した。

※提出先:長野市障害ふくしネット(協議会)事務局 長野市南部障害者相談支援センター メール:fnet@hynet.sakura.ne.jp

